

発行 大竹辰治事務所
 日本共産党 区議会控室
 大田区蒲田5-13-14
 電話 5744-1477
 事務所 大田区西蒲田5-9-12
 電話 3735-2611
 自宅 大田区東矢口3-11-19
 電話 3736-4202
 E-mail: tootake@apricot.ocn.ne.jp
 http://www10.ocn.ne.jp/~tootake/

日本共産党大田区議会議員

大竹辰治 ミニレポート

ご意見・ご要望をお寄せください



いのちとくらし第一の後期プランに

大竹区議が質問（第3回定例会）

区議会第3回定例会が9月18日から開かれ、19日に大竹区議が一般質問しました。

いのちとくらし第二プランに

問 後期おおた未来プランでは、新空港線「蒲蒲線」や空港跡地の大型施設の建設計画の推進で「国際都市おおた」を掲げている。区民の命と暮らしを第一でこそ、区の未来への躍動があるのではないか。大規模開発から命とくらし第一の区政に切り替えるべき。

答 「国際都市おおた」を掲げて、ソフト・ハードの両面から充実した計画を策定し実施していく。



問 待機児解消を1日も早くとの区民の声に応えるために、認可保育所的大幅な増設計画をすべき。また、待機児解消の目標を前倒しし2018年度から来年4月にすべき。

答 2013年度は、定員増の目標増やし、取り組みの一層の強化を図ってきた。また、15年に予定される子ども・子育て支援新制度の施行に向け、支援事業計画を策定し、今後の待機児童の解消対策を示していく。

問 がん検診を大田区でも品川区のように、希望者全員が受けられるようにすべき。

答 実施期間や受診予定者数は、毎年医師会との協議により定めている。より多くの区民ががん検診を受診できるよう協議していく。

問 2018年度までの特別養護老人ホーム・老健施設・グループホームの入所定員数目標3300人では、2013年4月との差は843人で、特養ホームだけでも1500人の待機者なので、整備

法律相談

顧問弁護士による法律相談です。
 お気軽にご利用ください（毎月第2水曜日）

11月13日（水）

午後1時～3時

場所 大竹辰治事務所（西蒲田大城通り）

事前にお電話ください ☎ 3735-2611

のそれぞれの計画目標を明らかにし、目標を引き上げるべき。

答 それぞれの施設の整備計画は、介護保険事業計画の中で適切に定めていく。

問 次回は未来プラン後期策定の最後の懇談会になる。時間を十分取って、区民への説明責任を果たし説明会を区内各地で行うべき。

答 限られた時間でも工夫していく。区民への説明責任を十分に果たすとともに、区民ニーズをきめ細かく捉えプランに反映していく。

安心できる介護保険へ

問 今回の介護保険の法改悪で、国に対して負担増と給付削減を中

止すべきとの意見を上げるべき。

答 今後の議論の方向を見守りたい。

問 今回の決算からも基金を全て取り崩し、保険料の引き下げができたことが証明された。事業途中からでも保険料の引き下げを行うべき。

答 3か年の計画で、その期間中の介護給付費と保険料が均衡するように策定されており、保険料は一定。

問 制度の改善を国に求めるとともに、区民の声に応え、区独自で家事援助サービスの時間延長や介護報酬への援助を余った財源で行うべき。

答 国の動向を見守っていく。

総会と納涼会 蒲田西連合後援会

8月24日熊野神社で、蒲田西地域後援会の総会・納涼会が行われ、約80人が参加しました。

総会・納涼会は、1部で総会が行われ、引き続き伊藤後援会長等役員の再選が確認されました。また、大竹辰治区議会議員から都議会議員選挙、参議院選挙のお礼と、「日本共産党の躍進を一過性にし

ないために、今後もご支援とご協力をお願いします」とあいさつがありました。2部では南部合唱団のギターの演奏と歌声があり、みんなで歓談しました。



熊野神社で後援会総会と納涼会

9月14・15日の2日間、小林神社の大祭が行われました。今年は、3年ぶりに神輿が出る「表」の祭りでした。

小林神社大祭 と演芸大会



14日は、演芸大会が社務所で行われ、大竹区議も氏子青年会の一員として模擬店で焼き鳥を焼くお手伝いをしました。

子どもたちに「おはよう」と声をかけ「おはようございます」と元気な声が返ってくる子どももいれば、小さな声で返す子どももいます。子どもたちの安心・安全は地域で守る、そのために頑張ります。

秋の交通安全運動 小林自治会



小学校前で交通整理する大竹区議

9月21日から30日までは、秋の交通安全運動でした。各町会では、町にテントを張って、学校の登校時に子どもたちの交通安全のために学校の前に立って、交通整理を行います。大竹区議も24日に交通整理をしました。

今年の重点は子どもと高齢者の交通事故防止が基本的重点です。

市民消防隊で参加 町会防災訓練

9月29日、地元小林自治会の防災訓練が行われました。

訓練は、1部2部の町会員が小林児童公園にまず集まり、三角巾で応急手当訓練を行った後、矢口東小学校で煙体験を行い、小学校前面道路でスタンドパイプの放水訓練、ミニポンプ隊と市民消防隊の実演が行われました。大竹区議は、市民消防隊の実演で指揮官を務め、訓練後あいさつしました。



市民消防隊で指揮官をする大竹区議